



梅雨明けはまだかと、雨の合間を見ながらプール遊びや泥んこ遊びを楽しんでいる子ども達です。保護者の方々にはプール設置をして頂き感謝申し上げます。夏ならではの遊びを存分に楽しめる保育をしていきたいと思ひます。

メディア視聴がもたらす子どもへのさまざまな影響

懇談会の際にゲームやYouTubeなどで悩まれているご家庭が多くおられました。近年、タブレットやテレビ・YouTubeなどの動画コンテンツが身近になり、子ども達も手軽に動画等を見ることができるようになった一方で、長時間の利用について心配される声も多く聞かれます。



乳幼児期の過度なメディア視聴は、言葉の発達や社会性、情緒面の発達に影響を与える可能性があることが報告されています。

また、夜間のスマートフォン利用は睡眠時間の減少につながり、イライラや怒り・倦怠といった気分の変化により、生活リズムの乱れに繋がることも報告されています。



ご家庭でもメディアの利用時間や利用方法を見直し、親子で一緒に過ごす時間を大切に頂ければと思います。

【絵本の読み聞かせをおすすめします。】

絵本を読み聞かせることは、子どもにとって良い影響があります。

○言葉や表現力が豊かになる。

○集中力や聞く力が育つ。

○親子でコミュニケーションをとる機会が増える。

1日5分程度でも、親子で絵本を楽しむ時間を作ってみましょう。



感触あそびってなあ～に？

今月は感触遊びの大切さや保育所で遊んでいる様子をご紹介します。感触遊びとは、水・泥んこ・指絵の具・片栗粉など様々な素材の感触を楽しむ遊びです。

～感触遊びの大切さ～

1. 様々な素材に触れる

感触遊びは、乳児から幼児まで幅広く楽しめる遊びです。特に0～2才くらいの子は直接触れて確かめることで、素材の感触を覚え、肌触りや温度をイメージできるようになります。



2. 感触刺激で五感を育む

五感は生まれつき備わっていますが、徐々に外からの刺激を受けることで発達していきます。釜保育所では裸足保育を特色としており、年中裸足で遊びを楽しんでいます。感触遊びで様々な刺激を与えることで豊かな五感の育成につながります。



3. 情緒の安定と自己表現

夢中になって感触遊びを楽しむことで心が落ち着き、集中や表現力が養われます。「〇〇したらどうなるかな？」「〇〇したら面白そう！」など、自由に発想したり、子ども自身で遊びを試す中で自己表現したり、自分の頭で考え、行動する力を養っています。ぜひ、ご家庭でも感触遊びを楽しんでみて下さい。



夏バテを防いで 夏を乗り切り！

夏バテを予防するためには、早寝早起きをし、朝食をしっかりと摂ることが大切です。

■十分な睡眠は、子どもたちが健康に成長するために必要です。早寝早起きは、睡眠の質を向上させ、体力や気力を維持するために必要です。

■朝食は、子どもたちがエネルギーを補給し、午前中の活動を支えるために必要です。大人も子どもも、しっかりと体を休め、朝食を摂って暑い夏を元気に過ごしていきましょう。

～7月の行事予定～

7日(火) セタ会

10日(金)

わくわくチャレンジ(5歳児)

13日(月) おかえりなさい会

14日(火) 水害訓練

24日(金) 誕生会